

令和3年 3月定例会

主な議事日程

3月	1日	開会・提案理由説明
	2、3日	議案研究
	4日	議案質疑
	5、9、10、12日	委員会審査
	16、17日	一般質問
	18日	討論・採決・閉会

令和3年3月市議会定例会は3月1日から3月18日まで(会期18日間)開かれました。

今回は6人の議員が市政一般に対する質問を行いました。

3月定例会では、市長から提出されました議案32件(条例5件、予算23件、その他4件)の議案について審査し、いずれも原案どおり可決しました。

委員会審査報告

総務文教委員会閉会中審査報告

空家対策、公共施設の維持管理対策、国民スポーツ大会に向けた弓道場整備について、審査を行いました。まず、空家対策では、担当課より、特定空家の除却状況について説明を受けました。次に、公共施設の維持管理対策については、平成28年度に作成された公共施設等総合管理計画に基づき個別施設計画を作成するため、令和2年度までに、施設類型ごとに定量的・定性的な評価を行い、管理に関する優先順位を検討されます。今後は、令和3年度からの取り組みのスケジュールを作成することになっていきます。最後に、国民スポーツ大会に向けた弓道場整備については、大会までのスケジュールや建設工事費、弓道具等の整備について確認しました。今後引き続き審査を進めていきます。



産業厚生委員会閉会中審査報告

閉会中継続審査事件とし、調査・検討を行ってききましたので、次のとおり報告します。

〇市立病院の今後のあり方

多久市と小城市での公立病院統合の協議が進められる中で公表された建設予定地について、疑問点や課題の抽出など、検証作業を行い疑問解消に至らなかった事項については、回答を市長に求め、後日、文書回答と副市長及び担当課と意見交換を行いました。

建設予定地とされる多久市東多久町大字別府が適地であるかについて、委員会より提出した質問事項に対する市側からの回答を踏まえ検証を行いました。疑問解消に至らず、適地とした根拠については、多久市に残したいと思以外に見出せませんでした。

以上の審査報告を議長へ提出し、今後の検討の在り方については、議長に委ね現在にいたします。

〇多久市の基幹産業である農業について

佐賀中部農林事務所、佐賀県農林水産部農政企画課より県内の「中山間地域における現状」、「中山間地域に係る各種事業」、「スマート農業の動き」等の説明を受け意見交換を行いました。それを受け市農林課より市内の「中山間地域の事業」や「集落営農組織の法人化について」の取り組み内容や進捗状況、課題について確認

しました。

また、三重県津市の、「つじ農園へ「地元との農園経営とスマート農業」について、視察研修を行いました。農業の法人化については地域の核となるリーダーの育成が必要であり、そのためには行政の経営支援が必要とのことでした。

多久市においても、地域営農組織の法人化やスマート農業の推進のために農家、農業団体、行政が連携して取り組んでいく必要があると感じました。

この事を受けて、農業関連に従事されている各種団体と意見交換を行いました。多久市の現状として、中山間地域農業について山間部の農業を守ることが地域の10年、20年後を守る事になるため、収益率の向上と後継者育成に目を向けた施策が必要であり、行政による時期を得た情報提供を行い持続可能な営農施策を市として進めていただきたい。

また、佐城農政協議会多久支部より出された要望内容については、担当課と協議を行い、進めていきます。



産業厚生委員会「農業関連従事者との意見交換」

〇福祉サービスについて

出かける楽しみの増加、出かけるさせる外出支援サービスの展開、地域の「きずな」づくりのため、介護予防、自立支援に関する事業の推進をおこない、医療・介護費の軽減に寄与する事業を確保することを目的に検討してきます。

課題として運転免許返納者、要支援者、軽度の要介護者、70歳以上の買い物困難者(バス停から自宅までの移動などの交通手段の不足が市民の交流機会の減少に繋がっていると考えられます。

先進的に取り組まれている三重県玉城町と熊野市へ「オンデマンド方式による元気バス」、「乗合タクシー」について、施策の理念や取り組みによる効果について視察研修を行うてきました。

また、福祉に従事される方々の意見を聴く為に、「多久市地域貢献推進協議会」や「多久市民生委員児童委員連絡協議会」との意見交換も行いました。

委員会として検討した結果、低額で利用負担が少ないドアツードアの交通手段を導入し、各種事業の推進をおこなうよう市へ要望いたします。



産業厚生委員会「民生委員児童委員連絡協議会との意見交換」

以上3項目について報告し閉会中審査事件を閉じる事とします。